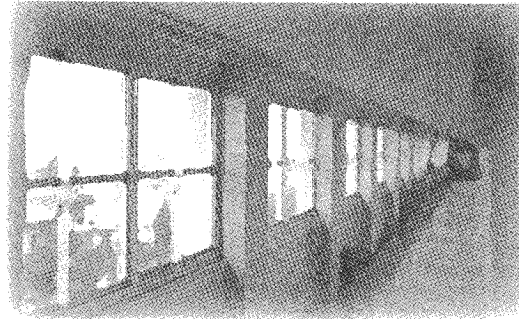


国連NGO横浜国際人権センター・うずしおランチ T-over人権教育研究所・人権こども塾 ニュース



Q. 中学生当時、「みんなで語り合う人権学習」をどう感じていたか？
マキの回答です。

こんばんは！夜分遅くにすみません！語り合うことについての私の中の簡単な意見です！
私があのとこのことで強烈に覚えているのは、Mのことです。私は中学校に入って、今まで仲が良かった子とクラスが離れて、今だから言えるけど、消去法的な感じでちょっとだけ話したことがあったMと話すようになりました。
初めは話も盛り上がらないし、楽しくないなって思うこともありました。それでも、いつのまにかMと打ち解けてました。それでKやHとも仲良くなって、思い出補正もあるかもしれませんが、本当に中学時代が一番楽しかったと思います！

進学・進級したとき、クラス替えがあったとき、子どもたちの一番の不安は、人間関係です。それがスムーズにいけばホッとするし、いかなければ孤立感や疎外感を感じ始めます。それは全国どこの学校でも同じではないでしょうか。

身近で見守る家族も、学校で友達はできたのか、仲良く過ごせているのか、気がかりになるように思います。

マキの話は、道徳の時間の思い出話に移ります。

それで、道徳の授業があって、初めてMの心のうちを知りました。初めての感覚でした。自分は何も知らなくて、どうしていいかわかりませんでした。でも、そのときはMの側にいたい、Mとずっと笑いながら話したいと思いました。だから頑張って、Mと同じような立場になりたいと、発言してたのを覚えています。

私にできることは何一つもなかったように思うし、力不足なんですけど、Mが一人で発言しているのを、私も隣で対等に発言して、Mを一人にはしないようにしようって思ったのかもかもしれません。

だから、私が自分の気持ちを伝えるって行為を一番後押ししてくれたのは、自分が信頼している人をどうにかしたい為なのかなって思いました。

私は道徳の時間が、本音の出ない、形式上の、心がけを説くだけの時間になっていくことを危惧しています。

このときの授業では、Mが自分の家族について悩み、不安に感じていることを吐露した時間でした。周りの友人は、いつも笑顔でいるMが、そんなことで悩んでいるとは露とも知りませんでしたから、相当戸惑っていたのを覚えています。それでもマキは手を挙げ、Mに思いを返していきました。そんな経験は、彼女にとって初めての感覚だったのです。

Q. 十数年経った今、「みんなで語り合う人権学習」をどう思っているか？

私は今は看護師を目指して勉強しています。

1年のときの実習は若い患者さんでした。話すことも何もなくて、向こうも学生がちよっと面倒くさそうで、個人的にすごく苦手でした。そんな雰囲気だからほとんど会話もなく、担当看護師さんからすごく叱られました。

患者さんとコミュニケーションをとって、患者さんのこと考えてアセスメントしてる？
患者さんのニーズに応えられてる？

毎日、厳しく注意されました。今思うと、自分の気持ちが全くその患者さんに向いてなかったなと思います…。

マキの回答は、看護学生としての「今」を報告してくれるものでした。(次号へ続く)

本気の人権学習は、——「すべてを変える」

うずしおランチ代表

